



今号の特集

下肢静脈瘤のおはなし

2021年
9月



会計待ち時間「待たずにラクへだ」サービスについて

令和2年6月25日から開始

かんたん手続き ・ 外来当日から使える ・ ご利用料無料

診察後、お会計を待たずにお帰りになれるサービスです。

(ご入院の場合は原則 ご入院前のご登録が必要となります)

- サービスのご利用には、『診察券番号』・『クレジットカード情報』等を事前登録いただきます。(登録料・利用料ともに無料です)
- 当日のお会計につきましては、ご登録されたクレジットカードから後日決済されます。
- 領収書については決済後、院内の専用発行機にて発行可能となります。

一部ご利用いただけないクレジットカードがございます。

発行 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院
TEL045-221-8181 (代表) URL <http://www.keiyu-hospital.com/>



下肢静脈瘤とは

下肢静脈瘤は足の血管の病気です。下肢とは足のことで、静脈瘤は血管（静脈）が文字どおりコブ（瘤）のようにふくらんだ状態のことをいいます。

下肢静脈瘤は良性の病気ですので急に悪化したり命にかかわることはありません。しかし、足のだるさや、むくみなどの症状が慢性的におこり生活の質（QOL）を低下させます。

「足がだるい、むくむ」が、発症のサインです。そのような場合はまずご相談ください。

また、まれに湿疹ができたり、皮膚が破れる潰瘍ができて重症になることがあります。このような方は、できるだけ早く受診されることをお勧めいたします。CT撮影などどのような静脈瘤か診断します。

治療方法のあれこれ

下肢静脈瘤の治療には「保存的治療」「硬化療法」「手術」「血管内治療」の4つがあります。静脈瘤のタイプや患者さんの状態によって適切な治療を選択する必要があります。

保存的治療は、血行を効果的にキープする弾性ストッキングの着用で症状の悪化を防ぐ治療です。

硬化療法は、静脈瘤に薬を注射して固めてしまう治療です。

ストリッピング手術は、静脈を切除し、引き抜く方法です。

血管内治療は、レーザーを用いて血管を焼灼して塞ぐ低侵襲治療です。体の負担が少ないため、2泊ほどの入院で治療ができます。

副院長
血管外科部長

松本 秀年